

事務事業名	桜の里づくり支援事業	事務事業No.	40105001034	所属課	ヤマザクラ課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成29年6月16日に制定した「桜川市桜の里づくり活動助成金交付要項」、「桜川市桜の里づくり事業に係る原材料支給要項」により、桜川市に数多く群生するヤマザクラの保全として、ヤマザクラが自生する森林等の草刈りや徐間伐、雑木材の整備などを行い、ヤマザクラの苗木を育て、植栽等を行い、景観整備等を行う。					
(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているのか? 市内行政区や事業所等からこの事業に取り組みたいという要望があり、年々参加団体数が増加傾向にある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 桜川市第2次総合計画と整合が取れており、市の政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 「ヤマザクラと市民の幸せが咲くまち桜川」を実現するため、妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 参加団体等へは継続して保全管理を行っていく事についてもお願いしたり、新規団体へは行政区や団体等の取り組みをPRしたり、市内全域へ事業を浸透させていくことが必要である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市内山々の保全管理の取り組みが薄れ、山林だけでなく、農地や景観にも影響が出るおそれがある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 農林課事業等で行った森林整備後の活用連携は考えられる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の事業費、人件費で事業を実施しており削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 「ヤマザクラと市民の幸せが咲くまち桜川」を実現するため、妥当である。「桜川市桜の里づくり活動助成金交付要項」、「桜川市桜の里づくり事業に係る原材料支給要項」により、山桜の保全、管理を推進するための業務であり、構成・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	(実績) H29実施:3団体、山桜植樹:140本。H30実施:4団体、山桜植樹:80本。R1実施:8団体、山桜苗木植樹:146本。今年度の参加団体は昨年度の2倍となり、昨年度に引き続き取り組んだ団体も3団体あった。参加団体においては、ヤマザクラが自生する森林等の草刈りや徐間伐、雑木材の整備などを行い、山桜の苗木植栽等を行い、景観整備等を行った。	
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果	
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 参加団体等へは継続して保全管理を行っていく事についてもお願いしたり、新規団体へは行政区や団体等の取り組みをPRしたり、市内全域へ事業を浸透させていくことが必要である。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>